

## 令和4年度「未来」を創る学力向上支援事業に係る未来を創る授業力向上協議会(総合的な学習の時間)(概要)

### 1. 目的

各中学校及び義務教育学校後期課程の総合的な学習の時間担当教員、指導教諭等を対象に、学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり及びカリキュラム・マネジメント等に関する講義・説明等を通して、総合的な学習の時間における教員の指導力及び生徒の資質・能力の育成等に資する。

### 2. 主催 大分県教育委員会

### 3. 日時 令和4年6月27日(月)13:30~16:20

### 4. 場所 コンパルホール 多目的ホール

### 5. 内容

#### (1) 開会行事

大分県教育委員会あいさつ <義務教育課 課長 武野 太>

- ・コロナによる一斉臨時休業から二年が経過し、ロシアによるウクライナ侵攻は深刻化の一途をたどる現状の中、戦争のない世の中の大切さを痛感している。
- ・持続的な開発目標の観点から、探究的な学習が展開されるよう、子ども達が主体的に関わることのできる授業づくりを期待する。

#### (2) 行政説明・協議「総合的な学習の時間の一層の充実に向けた授業改善の視点」

<義務教育課 義務教育指導班指導主事 友永 有司>

- ・全国学力・学習状況調査における学校質問紙では、9割を超える学校で、「探究の課程を意識した指導をしている」と回答。
- ・成果として①探究的な学習の過程を意識した学習展開の工夫②横断的・総合的な課題、地域や学校の特色に応じた課題への取組の充実③学年部・総合担当を中心とした組織的な取組の推進、が挙げられる。
- ・課題としては、①学校行事との関連により、その「準備」を進める必要が生じてしまうこと②計画が形骸化し、目標と関連性の低い学習活動に終始してしまうこと、がある。
- ・行政説明後の協議では、学校ごとに作成した全体計画の改善に向け、グループ協議を行った。特に全体計画と年間指導計画の「資質・能力」のつながりに着眼し、相互に助言しながら、改善に向けた話し合いが行われた。



#### (3) 講義「学習指導要領の趣旨を踏まえた総合的な学習の時間の展開」

<文部科学省初等中等教育局 教育課程課 教科調査官

国立教育政策研究所 教育課程調査官 齋藤 博伸 氏 >

- ・総合的な学習の時間で育成すべき「資質・能力」は、幼・小・中・高でつながっている。
- ・目の前にいる子ども達の興味・関心はどこにあるのか?というところから、授業づくりは始まり、中心となる活動を思い描いて単元をつくっていくことが大切である。
- ・「児童生徒の実態把握」と「教材研究」をしっかりやることによって、単元が生まれる。
- ・今取り組んでいる学年の先生が、次の学年にしっかりと引き継いでいくことによって、単元の内容の充実につながる。
- ・教科等横断的な学習にしていくために、学年会等で意見を出し合い、考えを広げることが必要。
- ・充実した学習過程の中で、子ども達は主体的に学習に取り組み、手応えをつかんで、前向きで好ましい感覚を得ることができるようになる。そのことにより、さらなる学習過程の推進に向け、安定的で持続的な意志を涵養していくこととなるだろう。

#### (4) 閉会行事